

大すきなタブレットタイム【小学校低学年】

- 1 **主題名** じかんをまもって **内容項目** A 節度、節制
- 2 **ねらい** 2つの日記を比較し、主人公そうたの心の変化を話し合うことを通して、時刻を守ることのよさに気づき、時間を大切にしようとする心情を育てる。

3 展開例

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導 入	1 学習課題について考えをもつ。 ・好きなことに夢中になっているときは、どんな気持ちでしたか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">時間を守るとどんなよいことがあるでしょうか。</div>	・児童の身近なことと関連させながら問題意識をもたせ、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る。
展 開	2 教材「大すきなタブレットタイム」を聞き、話し合う。 (1)タブレットの画面から芽が出たとき、そうたは、どんなことを考えたでしょうか。 (2)あと少しで、芽から葉っぱが開きそうなとき、そうたはどんなことを考えていたでしょうか。 (3)昨日より問題を進められなかったのに、どうして、そうたはすっきりとした気持ちになったのでしょうか。 3 自己を見つめ、振り返る。 時間を守るよさについて考えるとともに、時間を大切にすることについて、自己を見つめ、振り返る。	・主人公そうたに自我関与させ、夢中になるとその後のことを考えず、時間を気にせず行動してしまうことがあることについて、人間理解を深める。 ・時間を気にせず行動したことで困ってしまった経験から、自分のやりたいこととどちらを優先させるか、そうたの揺れ動く心の内を考えられるようにする。 ・2つの日記を比べることで、時間を大切にすることのよさについて考えを深めていけるようにする。 ・ブランコに乗れたことや友達との約束を守れたと答える児童には、どうしてそうすることができたのかを問い返し、考えさせるようにする。 ・学習したことから、時間を守って行動することのよさについて考えるとともに、自分自身の生活を振り返り、よさや課題に気づき、今後の生活に生かしていけるよう考えを深める。
終 末	4 教師の説話を聞く。	・身の回りの整理整頓、安全のきまりを守ること、規則正しい生活をするなど、節度節制に関する他の事例を取り上げ、価値理解を広げる。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

1人1台端末の活用により、児童生徒が端末を活用する機会が増えた一方、デジタル端末の長時間利用や、それに伴う姿勢の悪化、視力の低下等、健康への影響も危惧されている。端末を適切に活用し、児童生徒の学びを豊かなものにしていくためにも、使用時間を守り適切に端末を活用できる能力を高めていく必要がある。

本教材は、時間を守って行動することのよさについて考えることで、端末を適切に使用し、活用できるようにしていくことを目的に作成した。タブレットの学習に一生懸命取り組むことはよいことであるが、夢中になってやりすぎてしまうと本来やるべきことや、自分がやりたいことができなくなってしまうこともある。タブレットを適切に活用し、時間を大切にしていけることについて、児童の考えを深めていくことが大切である。

本教材の活用にあたっては、問い返しを行い、「ブランコに乗れてよかった」という浅い価値理解ではなく、時間を守ることが自分自身の快適な生活につながるという価値理解まで考えが深まるようにしていきたい。